

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

社会福祉法人
筑前町社会福祉協議会

令和6年度 筑前町社会福祉協議会事業報告

1. 総括的概要

社会福祉法人筑前町社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、地域が抱えている様々な問題を地域課題と捉え、中核的な機関として地域福祉の推進を行っている組織です。

令和6年度は、社協内の連携及び情報共有を意識した組織体制づくりに着目し、担当者間、係内、社協全体と必要に応じ協議の場を設定し取り組みました。また、行政とのパートナーシップを心掛け、各種事業の進捗状況の報告を密に行い、成果や課題の伝達の場を構築し、連携して活動を推進することができました。

総合相談係では、生活福祉資金の特例貸付の貸付対象者へのアンケート調査を完了しました。今後はアンケート結果をもとに支援方針を定め取り組んでいきます。

地域福祉係では、これまで地域に足しげく通い関係性を構築した成果として、様々な団体・個人から地域課題の情報提供や地域活動を行いたいという声から断らない支援に努め対応しました。

また昨年度からの課題として地域福祉活動の担い手、ボランティアの高齢化等による人材不足の課題に対して地域活動への関心、きっかけづくりとなる場や講座を立ち上げ実施しました。

今後も長期的なスパンで個別支援及び地域福祉活動の推進に努めます。

2. 重点施策

ア. 法人運営事業の体制基盤整備

毎月、係内ミーティング、3者ミーティング（事務局長、総務・総合相談係長、地域福祉係主任主事）を実施し情報共有を行いました。また担当者協議等を随時実施しチームでの支援体制づくりに努めました。

イ. 各種相談事業による対応

相談者への寄り添った支援を心掛け、各福祉関係機関・団体、行政及び町民へ協力を求め解決に努めました。

ウ. 地域支えあい活動の推進

町福祉課と協力し、地域包括支援センター担当の要支援認定者へのアンケートを実施し情報収集を行いました。アンケート結果から令和7年度の活動方針を定め推進していきます。

エ. 地域住民に対する福祉教育の推進

住民を対象とした福祉プログラム「赤い羽根共同募金のこと」を作成しました。令和7年度から町出前講座として実施をします。

オ. 社会福祉法人と連携した取り組み

社会福祉法人連絡会（8法人）で災害協定を締結しました。

カ. 災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直しと、地域や関係機関との連携・協力体制づくり

災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直しはできませんでしたが、町民向け災害ボランティアセンタープレ訓練を町環境防災課の協力を得て実施しました。

3. 法人運営

ア. 法人運営事業

(ア) 会議等の開催

名 称	期 日	内 容
監 査	5月20日(月)	・令和5年度決算監査
第1回 理事会	6月5日(水)	・会長の職務執行状況の報告について ・苦情解決窓口の体制について ・評議員選任・解任委員の選任について ・評議員候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員会の招集について ・役員候補者の推薦について ・令和5年度第3次補正予算について ・令和5年度事業報告について ・令和5年度資金収支決算書、貸借対照表及び財産目録について・監査報告 ・定時評議員会の招集について
第1回 評議員 選任・解任委員会	6月12日(水)	・評議員の解任について ・評議員の選任について
第1回 定時評議員会	6月21日(金)	・評議員の就任について ・苦情窓口の体制について

		・役員候補者の選任について ・令和５年度第３次補正予算について ・令和５年度事業報告について ・令和５年度資金収支決算書、貸借対照表及び財産目録について・監査報告
第２回 理事会	８月２０日（火）	・理事の就任について ・会長の職務執行状況の報告について ・能登半島地震に伴うボランティアセンター職員派遣報告について
町監査	１０月２日（水）	・財政支援団体監査
監査	１２月２日（月）	・令和６年度前期監査
第３回 理事会	１２月２５日（水）	・会長の職務執行状況報告について ・令和６年度補正予算（案）について ・評議員会の招集について
第２回評議員会	１月９日（木）	・令和６年度補正予算（案）について
県監査	１月３１日（金）	・社会福祉法人指導監査
第４回 理事会	３月１３日（木）	・会長の職務執行状況の報告について ・役員、評議員選考委員会の報告について ・役員候補者の推薦について ・役員等賠償責任保険の加入について ・令和６年度第２次補正予算（案）について ・令和７年度事業計画（案）について ・令和７年度予算（案）について ・評議員会の招集について
第３回 評議員会	３月２８日（金）	・役員、評議員選考委員会の報告について ・役員候補者の選任について ・令和６年度第２次補正予算（案）について ・令和７年度事業計画（案）について ・令和７年度予算（案）について

イ．組織運営及び機能強化

(ア) 財務運営管理

適正な財務管理を行いました。

ウ．役職員の資質の向上

総務・総合相談係

朝倉地区障害者等自立支援協議会	
計画相談部会	4月18日(木)・5月16日(木) 8月23日(金)
子ども部会	4月19日(金)・6月28日(金) 9月20日(金)・11月22日(金) 2月21日(金)
地域在宅支援部会	7月16日(火)・9月10日(火) 11月12日(火)・1月14日(火) 3月11日(火)
運営部会	6月7日(金)・9月6日(金) 11月29日(金)・2月28日(金)
全体会	7月11日(木)・3月25日(火)
筑前町地域自立支援協議会	5月21日(火)・6月8日(土) 11月9日(土)・3月18日(火) 8月20日(火)・10月15日(火)
朝倉地区障害者差別解消支援地域協議会	6月7日(金)・9月6日(金) 11月29日(金)・2月28日(金)
地域自立支援協議会担当者会議	9月2日(月)
両筑地区社協会長・局長会	4月23日(火)・8月1日(木)
両筑地区社協事務局長会	10月3日(木)・1月23日(木) 3月21日(金)
市町村地域福祉計画・重層的支援体制整備事業に関する研修及び福岡県再犯防止	5月17日(金)
市町村社会福祉協議会連絡会議 web	
筑前町防災会議	5月22日(水)
大刀洗町社会福祉協議会理事会視察	5月27日(月)

日常生活自立支援事業専門員研修 web	6 月 11 日（火）
日常生活自立支援事業集合研修	2 月 26 日（水）
筑前町地域公共交通会議	6 月 20 日（木）
生活福祉資金事務説明会	7 月 3 日（水）・10 月 25 日（金）
ひきこもり支援者研修会 web	7 月 3 日（水）
筑前町要援護者見守りネットワーク 協議会	7 月 4 日（木）
筑前町こども子育て会議	7 月 8 日（月）・9 月 18 日（水）
朝倉地区企業内同和問題推進協議会定期 総会記念講演会	7 月 11 日（木）
福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導 者研修	8 月 22 日（木）
地域自立支援協議会担当者会議	9 月 2 日（月）
生活福祉資金相談支援研修	9 月 24 日（火）
事業主人権問題研修会	10 月 15 日（火）
福岡県福祉大会	10 月 29 日（火）
福岡県障がい福祉サービス事業所等支援 員研修（動画視聴）	11 月 5 日（火）・11 月 7 日（木）
日常生活自立支援事業生活支援員研修会	11 月 14 日（木）
両筑地区社協全体研修会	12 月 9 日（月）
障害者相談従事者現任研修	12 月 14 日（土）
	12 月 19 日（木）・1 月 22 日（水）
	2 月 21 日（金）
小児在宅医療シンポジウム	1 月 25 日（土）
市町村社協会長、常務理事、事務局長 研修会	1 月 30 日（木）
電話相談実務者研修会	1 月 31 日（金）
精神障がい者地域支援会議	2 月 6 日（木）
筑前町地域包括支援センター運営協議会	2 月 13 日（木）
筑前町自殺対策ネットワーク会議	2 月 14 日（金）
福祉サービス苦情解決従事者研修会	2 月 15 日（土）・2 月 17 日（月）
認知症地域医療連携協議会	2 月 19 日（水）

市町村社会福祉協議会事務局長会	2月21日（金）
第3回社協職員オンラインサロン	2月28日（金）
社会福祉法人次世代経営者育成塾	3月4日（火）
両筑地区障害者相談支援事業担当者会議	3月24日（月）

地域福祉係

両筑地区社協連絡会地域福祉活動部会	4月4日（木）・8月8日（木） 11月21日（木）・2月17日（月） 3月19日（水）
筑前町人権・同和問題啓発研究会	4月22日（月）・5月21日（火） 6月12日（水）・8月2日（金） 9月13日（金）・10月9日（水） 11月19日（火）・12月16日（月） 1月22日（水）・2月10日（月） 3月17日（月）
被災者支援セミナー	5月31日（金）
福岡県地域福祉活動職員連絡総会 及び研修会	5月31日（金）
両筑地区ボランティア担当者意見交換会	6月17日（月）・12月16日（月）
災害ボランティアセンター設置運営訓練 研修（県社協主催）	6月24日（月）
福祉教育推進員連絡会議	7月11日（木）・3月26日（水）
福祉教育基礎研修会	7月29日（月）
NPO ボランティアセンター等連絡会研修	7月29日（月）・11月22日（金）
ふくおかライフレスキュー事業 フォローアップ研修	7月30日（火）
S C連絡会	7月19日（金）・10月17日（木） 12月18日（水）・2月7日（金）
S Cカフェ	7月30日（火）
S C交流会	10月11日（金）
珠洲の MIRAI（珠洲市災害 VC 現状報告会）	6月19日（水）・8月2日（金） 9月26日（木）

災害ボランティアセンター運営基礎研修	10月31日（木）
福岡県地域福祉活動職員連絡会	9月27日（金）・11月22日（金）
	1月24日（金）
ふくおかライフレスキュー事業	11月11日（月）・11月13日（水）
サポーター研修（Web・集合研修）	11月27日（水）
災害VC設置運営訓練全体研修	12月16日（月）
福祉教育セミナー	12月25日（水）
法的トラブル対応研修	1月14日（火）
市町村社会福祉協議会職員研修会	2月6日（木）
ふくおか“きずな”フェスティバル	2月16日（日）
災害ボランティアセンターICT訓練	3月13日（木）

エ．事務局体制の整備

労働保険講習会	5月20日（月）
算定基礎届事務説明会	6月3日（月）
労働社会保険法令改正講習会	8月23日（金）
健康保険委員研修	10月10日（木）
安全運転管理者等講習	10月31日（木）
年末調整講習会	11月28日（木）
社会福祉法人経営者セミナー	12月12日（木）
接遇マナー向上研修	1月10日（金）
市町村社協会計セミナー	1月16日（木）
業務改善研修	1月23日（木）
働き方改革関連法セミナー	1月23日（木）
福祉サービス苦情解決従事者研修会	2月17日（月）
入社退職に関する社会保険事務講習会	2月20日（木）

オ．広報活動の推進（広報・ホームページ）

社協の事業を広く町民に情報発信し、福祉事業への理解と支援を得られるように取り組みました。

（ア）広報紙発行

「ちくぜん社協だより」・「声の社協だより」4回（5月、8月、10月、1月）

（イ）町発行広報紙「広報ちくぜん」・町公式LINEによる広報・情報提供

（ウ）ホームページに福祉情報を掲載し、より幅広い世代に必要な情報を届けら

れるように更新しました。

4. 社会福祉事業

ア. 独自事業

(ア) 心配ごと相談事業

日常的に住民が抱える悩みや困りごと等を相談する窓口として開設し、相談員が助言を行いました。また、幅広い相談に対し、必要に応じて無料弁護士相談や専門的に相談できる機関を紹介し問題解決の手助けを行いました。

a. 毎月第1、第3金曜日に相談日開設（開設日数24日）

相談件数23件 ※令和5年度23件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総件数
件数	0	1	2	2	1	4	3	2	0	1	1	6	23

<相談内容事項ごとの解決状況>

相談事項	相談件数	解決	再来	民生委員	他機関	その他
生計	3				3	
家族	8	2			5	1
離婚	2				2	
健康・衛生	1	1				
医療	1					1
財産	1				1	
教育・青少年	1				1	
苦情	2				1	1
その他	4	2				2
計	23	5	0	0	13	5

心配ごと相談員

行政相談委員2人 調停委員1人 人権擁護委員7人 民生委員4人

b. 相談員研修

相談員を対象とした研修及び情報交換会を開催しました。

3月19日 心配ごと相談員研修 参加者9人

『人生会議』してみませんか？及び情報交換会

イ. 受託事業

(ア) いきいきサロン事業

住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、地域で支え合い、共に元気で楽しく心を通わせる場となるサロン事業を推進しました。

- ・開催地区 33 地区 ※令和 5 年度 33 地区
- ・実施地区 33 地区
- ・延実施回数 343 回 ※令和 5 年度 338 回
- ・延参加者 4,864 人 ※令和 5 年度延べ 4,977 人

a. サロン代表者会議

- ・4月17日 サロン実施内容の説明と助成金交付
- ・9月11日 いきいきサロン合同交流会の内容協議
- ・2月4日 令和6年度サロン実績報告と次年度に向けての説明
※大雪警報のため会議を中止し後日個別の対応を行いました。

b. 野外活動

月	5	7	9	10	11	2	総件数
件数	2	3	3	11	10	1	30

※令和 5 年度 27 地区

(主な行先)福岡県青少年科学館、久光製薬、麒麟コスモス園、
太宰府天満宮、小石原川ダム等

c. 悪質商法、防犯講座の実施（3ヵ年計画）

安全、安心の筑前町の確立を目的に朝倉警察署と協力し、全地区の講座を目指し、3年目である今年度は7地区で講座を実施しました。
(実施地区合計 29 地区)

d. 住宅火災予防講座の実施

筑前町の住宅火災予防として、甘木・朝倉消防署西部分署と協力し、住宅火災予防講座を9地区で実施しました。(実施地区合計 29 地区)

e. 福祉教育

小学生の福祉教育の一環として、高齢者福祉の学びを深めるために今年度からサロン見学・交流を4地区で受け入れました。

f. 合同交流会

合同交流会を3日間に分けコスモスプラザふれあいホールで開催し、23地区、316人の会員が参加しました。※令和5年度20地区(211人)

(イ) 放課後児童健全育成事業

小学生を対象に、放課後こどもが帰宅しても就労等のため保護者が不在等の家庭に代わって保育を行いました。

- a. 保護者、学校、こども未来センター、スクールソーシャルワーカーと連携を図り、児童の見守り・支援を行いました。
- b. 安全第一での運営を推進するため「安全管理マニュアル」に則した運営に取り組みました。また、「安全計画」に沿って、点検・訓練等を行いました。
 - ・避難訓練（机上） 2回 延べ参加者 26人
 - ・安全点検 12回 ・安全教育 3回
- c. 統括支援員が随時学童保育に入り支援員との更なる連携強化に努めました。
- d. 研修会に参加し、支援員の資質向上を図りました。
 - ・資質向上研修（2回） 延べ参加者 4人
 - ・防火管理講習（2回） 延べ参加者 4人
 - ・全国学童保育指導員学校 参加者 2人
 - ・救命救急講習 参加者 15人
 - ・全体研修「学童保育所での生活・こどもとの関わり方」参加者 13人
 - ・カスタマーハラスメントについて 参加者 2人（主任）
- e. 学童連絡会を開催し、関係機関と連携、情報共有を図っています。
 - ・2学童合同 2回（4月・3月）
 - ・みわっ子 SUN²クラブ 3回（7月・10月・1月）
 - ・のびのびクラブ 3回（5月・8月・11月） 合計8回
- f. 利用児童の増加に伴い第2学童を開設しました。（待機児童なし）
- g. 入所児童数

	みわっ子SUN ² クラブ				のびのびクラブ				合計	
	第1学童		第2学童		第1学童		第2学童			
定員	70		44		70		20		204	
最大受入人数	84		58		84		28		254	
	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月
1年	47	42	0	0	43	41	0	0	90	83
2年	10	9	24	19	21	20	15	10	70	58
3年	13	15	26	23	11	8	8	5	58	51

4 年	6	5	7	5	4	0	5	3	22	13
5 年	1	0	1	1	0	0	0	0	2	1
6 年	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
合計	77	71	58	48	80	70	28	18	243	207

※令和 5 年度 4 月計 196 人 3 月計 167 人

※夏休みのみの受け入れ のびのびクラブ第 1 学童 6 人

(ウ) 障害者相談支援事業

障がいのある人が自立した生活を営むことができるように、情報提供の便宜や、権利擁護のために必要な援助、市町村やサービス事業者との連絡調整を行いました。障害者総合支援法に基づき事業を推進しました。

a. 指定特定相談事業

スムーズな障害福祉サービスの利用ができるようにサービス等利用計画の作成を行いました。

- ・サービス等利用計画 25 件（モニタリング含む）

b. 指定一般相談支援事業

障がいに関する多様な相談に障害者相談支援専門員が対応しました。

また、心配ごと相談日に合わせて、障がい相談日を開設しました。

- ・相談業務 141 件 ※令和 5 年度 96 件
- ・障がい相談日 毎月第 1、第 3 金曜日に開設 12 件

※令和 5 年度 2 件

(エ) 障害支援区分認定調査

障害福祉サービスの利用を希望する本人の心身の状態や生活状況を聞き取り必要性を調査し、調査票の作成を行いました。

- ・認定調査 242 件 ※令和 5 年度 195 件

(オ) コミュニケーション支援事業

聴覚障がい者が自立した社会生活を営むための情報を得る手段として手話通訳及び要約筆記通訳の派遣を行いました。

<派遣内容別実績>

月 内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
医療・生命・健康	2	3	4	8	6	7	7	9	6	5	6	5	68

人間関係	2	0	2	2	1	1	0	7	1	1	1	0	18
その他	0	3	2	0	0	0	3	0	0	0	0	2	10
合計	4	6	8	10	7	8	10	16	7	6	7	7	96

※令和5年度実績 89 件

・利用登録者 11 人 ・手話通訳登録者 7 人 ・要約筆記登録者 4 人

(カ) 在宅介護者の支援

介護者の心身のリフレッシュと、介護者同士が横のつながりを作れるよう情報交換の機会を提供しました。また事業内容の周知、新規参加者の開拓のため、民生委員会、関係事業所へ事業の説明、チラシの配布を行いました。

・5月29日 宗像市（宗像大社・買い物・交流） 参加者 11 人

・11月8日 新宮町（ミカン狩り）、春日市（福祉用具展示会）参加者 10 人

・2月25日 講座「笑いヨガでリフレッシュ～作り笑いから始めよう～」

講師 佐藤 昌久先生 参加者 16 人

延べ参加者数 37 人（新規参加者 7 人）※令和5年度 34 人

(キ) 資金貸付事業

a. 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会の相談窓口として、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長を図るための貸付相談を行いました。

・福祉資金（緊急小口資金） 申請 6 件・決定 5 件 ※令和5年度 3 件
（福祉費） 申請 1 件・決定 1 件 ※令和5年度 1 件

・教育支援資金 申請 3 件・決定 3 件 ※令和5年度 6 件

b. 生活困窮相談支援事業

コロナウイルス感染症や物価高騰の影響で、生活困窮に陥った方の相談を受け様々な相談機関と連携をとり、通常の生活に戻れるように支援に取り組みました。

〈償還状況〉

貸付の内容	貸付件数 (令和2年3月～令和4年5月)	償還免除件数
緊急小口資金	307 件	130 件
総合支援資金（初回）	253 件	117 件
総合支援資金（延長）	66 件	26 件
総合支援資金（再貸付）	58 件	20 件

合計	684 件	293 件
----	-------	-------

〈伴走支援〉

(a) 令和5年度償還免除決定者へアンケート調査（1回目） 調査後の支援

- ・生活状況確認 10 件 （終結5件・継続5件）

(b) 償還免除決定者へアンケート調査（2回目） 2月実施

- ・アンケート調査世帯 99 件（再 89 件、新規 10 件）
- ・回収件数 45 件（内支援 28 件）

(ク) 日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力が不十分な人に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行い、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援しました。

- ・総利用者数 11 人（新規利用者 2 人・解約者 3 人）
- ・生活支援員 7 人（内町民支援員 5 人） ・専門員 2 人（社協職員）
- ・支援回数 延べ 283 回

a. 適切に事業を活用してもらえよう事業内容の周知・啓発を行いました。

b. 研修会に参加し、担当職員の知識向上を図りました。

(ケ) ボランティアセンター運営事業

幅広い世代に対してのボランティアの理解と活動を推進し、新たな活動が広がりました。

a. 情報の発信

- ・センターだよりの発行（6月、9月、12月）
- ・ホームページの更新及び町の公式LINEの活用

b. ボランティア依頼の対応及び活動の提供

ボランティア依頼への対応とボランティアへの調整を行いました。

依 頼 数 81 件 ※令和5年度 66 件

（障がい者分野 20 件、高齢者分野 5 件、子ども分野 27 件、地域活動分野 29 件）

マッチング数 81 件

活動者数 延べ 269 人 ※令和5年度延べ 161 人

団体登録 22 団体（261 人）※令和5年度 19 団体（239 人）

個人登録 33 人 ※令和5年度 42 人

c. 児童・青少年福祉事業と連携した福祉教育への取り組み

- ・小中学校に福祉教育の推進と福祉教育サポーターの調整を行いました。

- ・小中学校で学んだ福祉教育を発展的に学ぶ、体験する、実践することを目的に「筑前町ボランティア部」を立ち上げ活動を行いました。

期 間 7月20日～3月末

対 象 小学生（5年生以上）～中学生

メンバー 31人

内 容 ・定例活動（学び）5回 延べ参加者 95人
 ・手話体験講座（夏休み期間） 延べ受講者 47人
 ・ボランティア依頼対応 27件 延べ活動者 104人

d. ボランティアセンター運営委員会の実施 5月8日、11月6日

f. 各種ボランティア講座（研修）等の実施

ボランティア活動や地域福祉への興味・関心につながる講座を実施しました。

(a) ボランティア入門&体験講座 7月19日 6人 ※1人登録

(b) 工作ワークショップ講座 8月25日 家族9組（20人）

(c) 福祉教育サポーター養成講座 9月6日 8人

(d) 行政職員（プロジェクト会議メンバー）向けボランティア研修
 9月25日 8人

(e) 災害ボランティア講座 9月28日 44人 ※16人登録

(f) 戦跡ガイドボランティア養成講座（大刀洗平和記念館との共催）

2月6日～3月13日（毎週木曜）全6回講座 18人

(g) 朗読&読み聞かせボランティア交流会 3月10日 24人

g. ボランティアの活動支援

登録ボランティア団体・個人への活動をサポートし、下記の取り組みを行いました。

(a) ボランティア団体立ち上げサポート

- ・となりのササエさん

保護者が幼稚園・保育園・小学校等行事の間、きょうだい児の見守りを行う団体として立ち上げ、子育てアンケート（町内幼稚園、一部保育園の保護者対象）実施等のサポートを行いました。

- ・だいちの会（育ちを支え合う家族の会）

不登校や学校への行きづらさを感じている子の保護者（当事者）の会の立ち上げをサポートしました。

(コ) 生活支援コーディネーター事業（SC）

いつまでもこの地域で暮らしていけるように、住民主体による生活支援・介護予防サービスの充実が図られるよう身近な地域での支えあいを推進しました。また地域や個別の相談に対してスポット的に関わり、関係機関との連携も踏まえ、支援が必要な人に対して、情報提供等を行い、断らないサービスに努めました。

a. 町が実施する LINE 脳若 365 を活用した情報提供

- ・発信回数 59 回 ※令和 5 年度 69 回
- ・主な発信内容 住民参加型有償生活支援サービス事業の実績報告、いきいきサロン情報、地域活動情報、社協事業の募集、支えあいだより等

b. つどいの場の立ち上げ（見える化）の推進

地域の支えあいのきっかけとなるつどいの場の設立推進の手伝いや、現在水面下で活動しているつどいの場の見える化を推進しました。

- ・櫛木区つどいの場立ち上げ手伝い（令和 6 年 8 月発会）
- ・地域活動取材
- ・地域からの相談に対してのサポート

c. 住民参加型有償生活支援サービス事業の継続と発展

生活支援の実施者である「かせし隊員」の登録者増員を図るため、各種福祉団体等へ事業紹介を行い、PR をしました。

- ・新規依頼件数 17 件
- ・実施決定件数 15 件（辞退 2 件）
- ・延べ支援回数 421 回（内 SC 支援回数 33 回）※令和 5 年度 423 回
- ・かせし隊登録者数 33 人 ※令和 5 年度末 29 人
- ・主な支援

継続支援：買い物代行、ゴミ出し（資源ゴミ含む）、買物付き添い、散歩の付き添い

単発支援：コインランドリー対応

- ・かせし隊スキルアップ講座の実施

実績報告と座談会で支援内容や支援方法についての質問や意見、悩み等を共有し、活動しやすい環境になるような講座を実施しました。

7 月 26 日 参加者 15 人

d. 筑前町事業福祉サービス、事業サービスパンフレットの作成

町、福祉関係事業所や福祉団体、民間事業所等のすべての生きがいや暮らしの情報を網羅したパンフレットの作成のために、令和7年度完成を目指して町との協議を行い、情報収集を行いました。

e. 各地域の情報収集、地域課題発掘と地域への関わりを検討するため、地域包括支援センターと協力してアンケート調査を実施しました。アンケート結果をもとに、今後、地域に関わっていきます。

- ・ 区長会アンケート 51 行政区中 50 行政区回収
- ・ 要支援者へのアンケート（地域包括支援センター）177 件（166 件回収）

ウ. 共同募金配分金事業

（ア）高齢者福祉事業

a. ひとり暮らし高齢者のつどい

70 歳以上のひとり暮らしの人を対象に、閉じこもり予防・仲間づくりを目的に、福岡市内（福岡市博物館等）に外出しました。

- ・ 11 月 13 日 参加者 30 人
- ・ 11 月 14 日 参加者 19 人

b. 小物づくり講座

作品作りを通して、交流を深めることができました。

- ・ 10 月 11 日 参加者 24 人 講師 野いちごの会（ボランティア団体）

c. 敬老の日祝い事業

白寿と米寿を迎えられた方へ敬老のお祝い品を贈呈しました。

	贈呈者数
白寿	15 人
米寿	147 人

※令和5年度 白寿 23 人 米寿 145 人

d. いきいきサロン応援隊の育成

レクリエーション技術と知識の向上のため2回の研修を行いました。

日程	講師	参加者
3 月 5 日	朝倉医師会 介護支援センター	9 人
3 月 7 日	福岡県レクリエーション協会	12 人

e. 聞こえのおはなし講座～聞こえにくってどんなこと？～

誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進するため、中途失聴や難聴、加齢による聞こえに不安のある当事者に対しての理解とそのコミュニケーション方法を学ぶ講座を実施しました。

・ 7月 31 日 参加者 18 人

・ 9月 1 日 参加者 15 人 ※令和 5 年度 20 人

講師 福岡県要約筆記連合会

f. 筑前町シニアクラブ連合会への配分及び支援

筑前町シニアクラブ連合会の活動に対する助成金配分と事務支援を行いました。

g. 遺族会への配分及び支援

自主活動に対する助成金配分と事務支援を行いました。

(イ) 障がい者福祉事業

a. 障がい者のつどい

障がいのある人と地域住民のふれあいの場を提供し、障がいへの理解の推進を行いました。

・ 12 月 21 日 フライングディスク体験・交流会

※フライングディスク＝全国障害者スポーツ大会の正式競技。

プラスチック製のディスク（円盤型）を用いて競技を行う。

・ 参加者 35 人 ※令和 5 年度 42 人

b. 福祉用具の貸与

地域福祉活動の支援及び在宅福祉における利用者や家族の日常生活の負担軽減のため、福祉教育用具や介護福祉用具の貸し出しを行いました。また、ホームページを活用し、事業内容の周知に努めました。

・ 車いす 42 件※令和 5 年度 66 件 ・ 電動ベッド 0 件※令和 5 年度 2 件

c. 大人のための手話体験講座

講座を通じて聴覚障がい者の理解と手話への関心を推進することを目的に聴覚に障がいがある人と地域住民が触れ合える場を提供しました。

・ 8 月 21 日～9 月 25 日（全 6 回講座） ・ 受講者 5 人 ※令和 5 年度 6 人

d. 身体障がい者福祉協会の配分及び活動支援

自主的活動の助言と事務を支援し、助成金配分を行いました。

e. 障がい者小規模作業所への配分

町内3か所の小規模作業所（みるくはうす・ひだまり・くるみ苑）へ助成金配分を行いました。

（ウ）児童・青少年福祉事業

a. 小学校等の福祉教育の推進

各小学校区の地域性、学年に応じた福祉への理解と芽生えを目的に、福祉教育を推進しました。

（a）パンフレットを活用し、福祉教育プログラムを提案しました。

実施校

○三輪小学校4年生

- ・社会福祉協議会ってどんなところ？ 6月21日
- ・地域の宝さがし・いきいきサロン 7月9日
- ・いきいきサロン見学 9月4日、10月1日
10月2日、11月19日
- ・ゲストティーチャー交流&車いす体験
9月17日、9月24日、9月25日、9月26日
- ・ゲストティーチャー交流&視覚障がい体験
10月16日～10月18日、10月25日

○東小田小学校4年生

- ・福祉体験学習 11月29日
(車いす体験、視覚障がい体験、妊婦・高齢者体験)
- ・「知ってる？ボランティア活動のこと」 12月6日

○中牟田小学校4年生

- ・「知ってる？ボランティア活動のこと・知ってる？赤い羽根共同募金」
10月21日
- ・ゲストティーチャー交流&車いす体験 10月28日

○三並小学校4年生

- ・「知ってる？赤い羽根共同募金」 10月10日
- ・車いす体験・「知ってる？ボランティア活動のこと」 10月16日
- ・ゲストティーチャー交流&視覚障がい体験 11月21日
- ・コスモスプラザ見学 12月8日

○夜須中学校1年生 ・福祉体験学習 9月19日

(車いす体験、視覚障がい体験、妊婦・高齢者体験)

○三輪中学校1年生 ・福祉学習のまとめ 10月3日

(b) 地域住民や町、社会福祉法人と連携し、授業に取り組みました。

(福祉教育サポーター 延べ7人 社会福祉法人 延べ5人)

(c) 福祉教育教材「ともに生きる」を希望する小学校へ配布しました。

三輪小学校 125冊 東小田小学校 90冊

中牟田小学校 73冊 三並小学校 15冊

b. 福祉協力校への配分

町内の小学校と中学校へ助成金配分を行いました。

(エ) その他の福祉事業

a. 福祉育成

バス停の管理(14ヶ所)と老朽化したバス停の補修を行いました。

・山家道バス停下りの補修 4月 5日

・栗田バス停上り待合所の補修 5月13日

・石櫃バス停上に時計設置 2月12日

b. レクリエーション用具の貸与 65件 ※令和5年度35件

c. ボランティア活動

(a) ボランティア連絡協議会へ助成金配分を行い事業等の支援を行いました。

(b) 地域住民が地域を住みよくするための支えあい活動実施団体への助成金「筑前町を良くする助成金」を行いました。

・申請及び決定団体数

6団体 ※令和5年度5件

(子ども食堂 食・遊・和「ほとめき」、たすけあう会、どんぶり楽堂
くりた 結の会、朝日西区居場所づくり、組蔵倶楽部)

・助成金総額 436,000円

(c) 地域住民が新たに地域活動やボランティア活動に取り組むための応援助成金として「地域福祉活動スタートアップ助成金」を行いました。

・申請及び決定団体数 1団体 (となりのササエさん)

・助成金総額 20,000円

d. 担い手育成

働く世代を対象に、地域活動やボランティア活動に興味・関心をもつきっかけとなる担い手講座(ワークショップ)を行いました。

・地域の味をつなぐ 味噌づくりワークショップ 9月29日

参加者 27 人

- ・親子で一緒にピザづくり体験 3月16日 参加者 18 人（親子 6 組）

5. その他

ア. 社会福祉法人連絡会

（ア）社会福祉法人連絡会（施設長会）

※ 8 法人で組織（菊池園、朝老園、朝倉苑、善正会、第二野の花学園、
武光福祉会、すぎのこ会、社協）

9月2日 第1回筑前町法人連絡会

- ・サポーター部会から活動報告
- ・町の保健師との連携について
- ・筑前町社会福祉法人連絡会災害時相互支援協定（案）について
- ・筑前町ボランティア部の設立について（筑前町ボランティアセンター）
情報交換

（イ）ライフレスキュー事業サポーター部会

※ 5 法人で活動（菊池園・朝老園・朝倉苑・善正会・社協）

- a. ライフレスキューサポーターが生活困窮者に対する支援を行いました。
 - ・支援件数 13 件 ・対応回数 17 回 ・対応人数 延べ 31 人
- b. 毎月 1 回サポーター部会を開催し、事例の検討と情報の共有を行いました。また、平時からのつながりを図るため町保健師にサポーター部会への参加を依頼し、情報共有や相互理解に努めました。
 - ・開催回数 10 回 ・参加者 延べ 64 人
- c. リユース品の貸与 0 件 提供 2 件
- d. 社会貢献活動に取り組みました。
 - ・町内小中学校の福祉体験学習協力 2 回 参加者 延べ 5 人

イ. シニア向けスマホ教室

生涯学習課と共催で、高齢者を対象としたスマホ教室を実施しました。

第 1 回 8 月 21 日・23 日 申込者 24 人 ボランティア 延べ 20 人

第 2 回 1 月 25 日・2 月 2 日 申込者 23 人 ボランティア 延べ 17 人

ウ. まちづくり出前講座

- ・介護予防のためにできること 4 回 ※令和 5 年度 3 回
- ・レクリエーション用具で遊ぼう！ 22 回 ※令和 5 年度 33 回

エ. 災害支援

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に伴い、県社会福祉協議会からの派遣依頼に基づき珠洲市災害ボランティアセンターに職員派遣を行いました。

・派遣期間 6月12日～6月16日 ・派遣職員 1人

オ. 筑前町災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書の見直し

筑前町災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書の見直しのため、町と協議を行いました。また、令和7年度に実施予定の地域住民向け災害ボランティアセンター設置・運営訓練のプレ訓練を行いました。

・町（環境防災課）との協議 3回

・災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施 2月15日

参加者 45人

対象者 防災士、事前登録災害ボランティア、ボランティア連絡協議会
環境防災課